



ももぐみだよ

2021年8月2日
社会福祉法人尚徳福祉会
おぐら保育園



もも組になって4ヶ月が経ちました。4月当初から比べ、ひとりひとり様々な変化が見られます。最近、身の回りの事を自分でやろうとしたり、自分の思いを通したい自我の高まりや、友だちとの関わりも増えてきました。友だちへの興味や関わりの中、『私は、～したかったのに、〇〇ちゃんが～』という場面が、時折見られます。一人で遊びたい時もあるけど、友だちともあそびたいなという協調性が広がってきました。保育士としては、互いの思いを受け止め、気持ちを代弁し、安全面に留意しながら関わりを援助していきたいと思います。



みずあそび

長かった梅雨が明け、待ちに待った水あそびが始まりました。「今日は水あそびをするよ！」と声をかけるとみんな目をキラキラさせて準備に入ります。

事前にお話をする「水あそびのルール」も回数を重ねるごとに覚えてきたようで、保育士が話す前にも子どもたちから「転ぶから走らないんだよね！」と教えてくれることがあります。

今年も水あそび用のおもちゃをたくさん用意しました。子どもたち自身でおもちゃを選び、おもいっきり水の感触を楽しんでいます。

ジャブジャブランド

先月おこなわれたジャブジャブランドへあそびに行きました。

ホールの天井から下げられている手づくりのお魚たちを見ながら、ボールプールや風船などで身体を使ってあそび、海の世界を楽しみました。パンダルームではスライムあそび。握ったり、コロコロと丸めて、特有の感触を味わいました。

おやつ時間ではかき氷を用意。ボウルに入ったたくさんのかき氷を見ると大喜びで、「つめた〜い」「あま〜い」と言いながら美味しく涼を感じていました。

ダンスの時間



雨が続いた7月、様々な室内あそびを取り入れました。パズルなどの机上あそび、おままごとなどをしました。その中でもダンス・体操は特に人気があり、踊り終わっても「もう一回！」とお願いされるほど子どもたちは音楽に合わせて身体を動かすことが大好きです！

クラスでは新たに「バナナくんたいそう」「Baby Shark」と言う曲を使って踊っています。どちらもかわいい歌でシンプルなダンスとなっています。

クラスからのおねがい

夏に入ると「アデノウィルス」「手足口病」「ヘルパンギーナ」など特有の病気が流行り始めます。

クラス内では、子どもたちの手洗いでだけでなく、常に換気・消毒・清掃に気を配り、保育をしています。

ご家庭でも保育園からの帰宅、お出かけ後に手洗い・うがいをおこなうだけで、感染予防に大きくつながります。

そして、連絡ノートや送迎時に園内の様子・ご自宅での様子などを引き続き情報交換していきたいと思います。

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。